

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床看護技術 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	矢田 リエ子	実務経験とその関連資格	総合病院に看護師として勤務。実習指導者として、基礎、成人、老年看護の学生実習を担当。看護師長として、ICU、神経内科、泌尿器科病棟管理、専任にて医療安全管理に携わる。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 様々な健康上のニーズを持つあらゆる年齢層の人々に既習の基本的な看護の考え方や知識・技術を統合して応用するプロセスやその看護の実際・実践を学ぶ。看護の対象者の健康レベルは、常に変動している。健康レベルが何らかの治療が必要となる程度の変化をきたす場合、その健康レベルの変化にはいくつかの特徴が見られる。その健康段階に応じた看護を学習する。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b>  筆記試験(70%)、授業・演習態度(20%)、小テスト(10%)で評価する						
系統看護学講座 基礎看護学④ 臨床看護学総論 医学書院 新体系 看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II 医学書院						
<b>《授業外における学習方法》</b>  授業1回あたり1時間から1時間30分の授業外学習(事前課題、予習、復習)が前提です。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 看護の対象者は、あらゆる年齢層、あらゆる健康レベルにあり、その健康段階に応じた看護が必要である。なぜそれが必要なのか考えながら、積極的に授業に参加して欲しい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康について説明できる 人間の持つ基本的欲求について説明できる	PC プロジェクター	教科書を事前に読んで予習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	ライフサイクルからとらえた対象と家族の健康上のニーズ 人のライフサイクルからとらえた看護			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ライフサイクルと発達課題、健康上のニーズについて説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	子ども、成人、高齢者、親になる人の理解と看護			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族の機能、健康上のニーズについて説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	家族の機能からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	入院時、退院時、在宅におけるニーズとその看護について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	生活と療養の場からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ 入院時の看護、退院時の看護、在宅における看護			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康の維持増進を目指す人々のニーズを理解し、必要な看護について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	健康状態と看護 健康の維持増進を目指す看護			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期の対象の特徴について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	急性期の特徴 治療の特徴		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期にある患者への看護援助について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	急性期の患者のニーズ、看護援助		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性期にある患者の特徴について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	慢性期の特徴 治療の特徴		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性期にある患者への看護援助について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	慢性期の患者のニーズ 看護援助		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	回復期にある患者への看護援助について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	回復期の特徴 患者のニーズ 看護援助		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリ期にある患者への看護援助について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション期の特徴 患者のニーズ 看護援助		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期の特徴について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	終末期の特徴 患者のニーズ 看護援助		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期にある患者への看護援助について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	終末期の看護援助 家族への援助 死の看取りの援助		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心肺蘇生のための基本的な技術を修得する	看護実習室使用 配布資料	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した範囲の教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	救命救急処置の基礎知識 心肺蘇生法		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心肺蘇生のための基本的な技術を修得する	看護実習室使用 配布資料	指定した範囲の教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	救命救急処置の基礎知識 心肺蘇生法		